

## 市原事業所袖ヶ浦プラスチックソーティングセンター(仮称)の開設について

TRE ホールディングスグループの一員である当社は、近年急速に需要が拡大している再生プラスチックの供給力を一層強化すべく、当社で初めてプラスチックの再資源化に特化した「市原事業所袖ヶ浦プラスチックソーティングセンター(仮称)」の開設を決定しましたのでお知らせいたします。

### 1. 設立背景

政府が策定した「成長志向型の資源自律経済戦略」をはじめ、「第五次循環型社会形成推進基本計画」等において再生材の積極利用に向けた国家戦略が示される中、2026年4月には「使用済自動車に係る資源回収インセンティブ制度(※1)(以下「インセンティブ制度」)」が開始されるなど、使用済自動車(以下「ELV」)由来の良質な再生プラスチック需要が急速に高まっています。

こうした中、当社では国内最大規模の ELV 破碎を行う市原事業所を中心に自動車リサイクル事業を展開するとともに、2023年4月にお知らせ(※2)した通り、住友化学株式会社(以下「住友化学」)と「使用済み自動車から得られる廃プラスチックのマテリアルリサイクルに向けた業務提携契約」を締結するなど、ELV 由来の再生プラスチックの生産・供給に向けた取り組みを着実に推進してきました。

そしてこの度、高品質な再生プラスチックの安定供給と、市場拡大を見据えた研究開発を推進すべく、当社で初めてプラスチックの再資源化を専業とする「市原事業所袖ヶ浦プラスチックソーティングセンター(仮称)(以下「当センター」)」の設立を決定しました。当センターは、市原事業所の管轄として一体的な事業運営を行っていきます。また、本計画は環境省が公募する「令和7年度先進的な資源循環投資促進事業(2次公募)」に採択され、国の資源循環政策と整合した先進的な取り組みとして位置付けられました。

※1 自動車リサイクル法に基づき、自動車所有者が預託するリサイクル料金の一部を原資とした制度。解体業者や破碎業者が ASR(ELV を破碎・選別した後のこる残さ物)になる前に樹脂・ガラスを資源として回収した場合、ASR 引取重量が減量し、その分再資源化費用が減額となることから、ASR の減量分相当のリサイクル料金額を原資として回収のための経済的インセンティブの付与を行うもの

※2 2023年4月26日 | [「住友化学とリバー、マテリアルリサイクルの事業化で業務提携 ～「動脈×静脈企業」連携で使用済み自動車のプラスチック資源循環システムの確立へ～」](#)

### 2. 「市原事業所袖ヶ浦プラスチックソーティングセンター(仮称)」について

本計画は、住友化学千葉工場(袖ヶ浦第Ⅱ地区)内に約 3,010 m<sup>2</sup>の土地を賃借し、ELV 由来のバンパーや内装材などの硬質プラスチックを集中的に破碎・選別することで、高品質な再生プラスチック原料の効率的かつ安定的な供給を目指すものです。当センターでは年間約 1,700 トンを処理予定であり、取扱数量の約 70%を再生材として安定供給できるよう、段階的に生産能力を高めていきます。

母材となる ELV 由来の硬質プラスチックは、当センターを管轄する市原事業所を中心に、当社

の自動車リサイクル事業を担うELV川島事業所やELV柏事業所などから回収します。さらに、2026年4月に開始予定のインセンティブ制度を活用し、新たに当社を「管理会社」とした解体事業者によるコンソーシアムを組成。外部の自動車解体事業者と協働し、ELV 由来の資源回収スキームの管理・運用を通じて安定的な原料調達を実現します。

当センターは、ELV 由来の高品質な再生プラスチック原料の生産を通じ、自動車が再び自動車へと生まれ変わる Car to Car の実現に貢献するだけでなく、当社初のプラスチック專業施設として、あらゆる廃プラスチックの再生技術を獲得するための研究開発拠点としても機能します。

### 3. 今後の展望

当センターは、当社初のプラスチック專業施設として、プラスチック分野における Car to Car の実現と、あらゆる廃プラスチックの再生技術の探求を担う、事業戦略上きわめて重要な拠点です。今後は、設備の機能検証と並行して、当社グループ全体で母材の調達力を一層高めていくことで、再生プラスチックの安定供給と研究開発の加速へとつなげていきます。また、所在地域の特性を生かした“共創”を推進することで、再生原料メーカーとしての地位を確固たるものとしてまいります。

当社はこれからも、TRE グループが掲げる「WX(Waste Transformation)環境企業への挑戦」(※3)のもと、廃棄物の可能性を最大化する取り組みを継続し、高度循環型社会および脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※3 従来資源化の難しかった廃棄物・使用済製品等について、廃棄物処理の技術的・採算的課題を克服し、資源やエネルギーへと変換する取り組みであり、動脈・静脈の枠組みを超えた“共創”により高度循環型社会、脱炭素社会の実現を目指すもの

#### ■センター概要

施設名	リバー株式会社 市原事業所袖ヶ浦プラスチックソーティングセンター(仮称)
住所	千葉県袖ヶ浦市北袖9番地1(住友化学(株)千葉工場 袖ヶ浦第II地区内)
敷地面積	3,010 m <sup>2</sup> (工場棟:2,900 m <sup>2</sup> 、事務所棟:110 m <sup>2</sup> )
主要設備	破碎機、粉碎機、風力選別機、浮沈選別機、ラバーリムーバー等
総工費	約5億円
操業開始	2026年度中
予定取扱数量	1,700トン/年 ※うち約70%を再資源化予定

以上

#### < 本リリースに関する問い合わせ先 >

リバー株式会社 経営企画部広報課

連絡先: 03-5204-1891 e-mail:[kouhou@re-ver.co.jp](mailto:kouhou@re-ver.co.jp)